

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	西東京市富士町 1-7-2
園名	はこべら保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な素材に光を当て、光の変化や影の存在に気づく

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園舎の階段にあるスタンドグラスに光が当たると、壁にきれいな色が浮かび上がる。それを見て子どもたちは目をキラキラさせている姿が見られた。そのことをきっかけに、光と影の幻想的な雰囲気に触れる機会を持ち、光と影への探求心を深めていきたいと思いテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ① 9/16 様々な素材を色々な道具で照らしてみる
- ② 10/10 様々な素材を太陽光にあてて、影の出方や光の反射を楽しむ
- ③ 11/27 自分たちの作った素材を太陽光にあてて、影の出方や光の反射を楽しむ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ① プリズモボード 10、台 6、プリズモパーツ大透明 7 色、懐中電灯、レンガ積み木ランタン、非常用懐中電灯、透明バケツ、
- ② プリズモボード 10、台 6、プリズモパーツ大透明 7 色、レンガ積み木、白い模造紙
- ③ 子どもが作ったスタンドグラス用の桜の花びら (一人 5 枚)、ジュエルドミノ、レンガ積み木、白い模造紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① 室内で電気をつけている時と消した時に懐中電灯を照らしてみる。光や影の出方の違いを観察したり、プリズモや積み木を照らして影が写しだされる様子を観察したりする。
- ② テラスで太陽光の下で様々な道具（レンガ積み木等）を照らし、影の出方を観察する。室内との光の強さの違いも体感する。
- ③ テラスで自分たちの作ったステンドグラス用の花びらやジュエルドミノ等に光をあて、影の出方や光の反射を観察する。

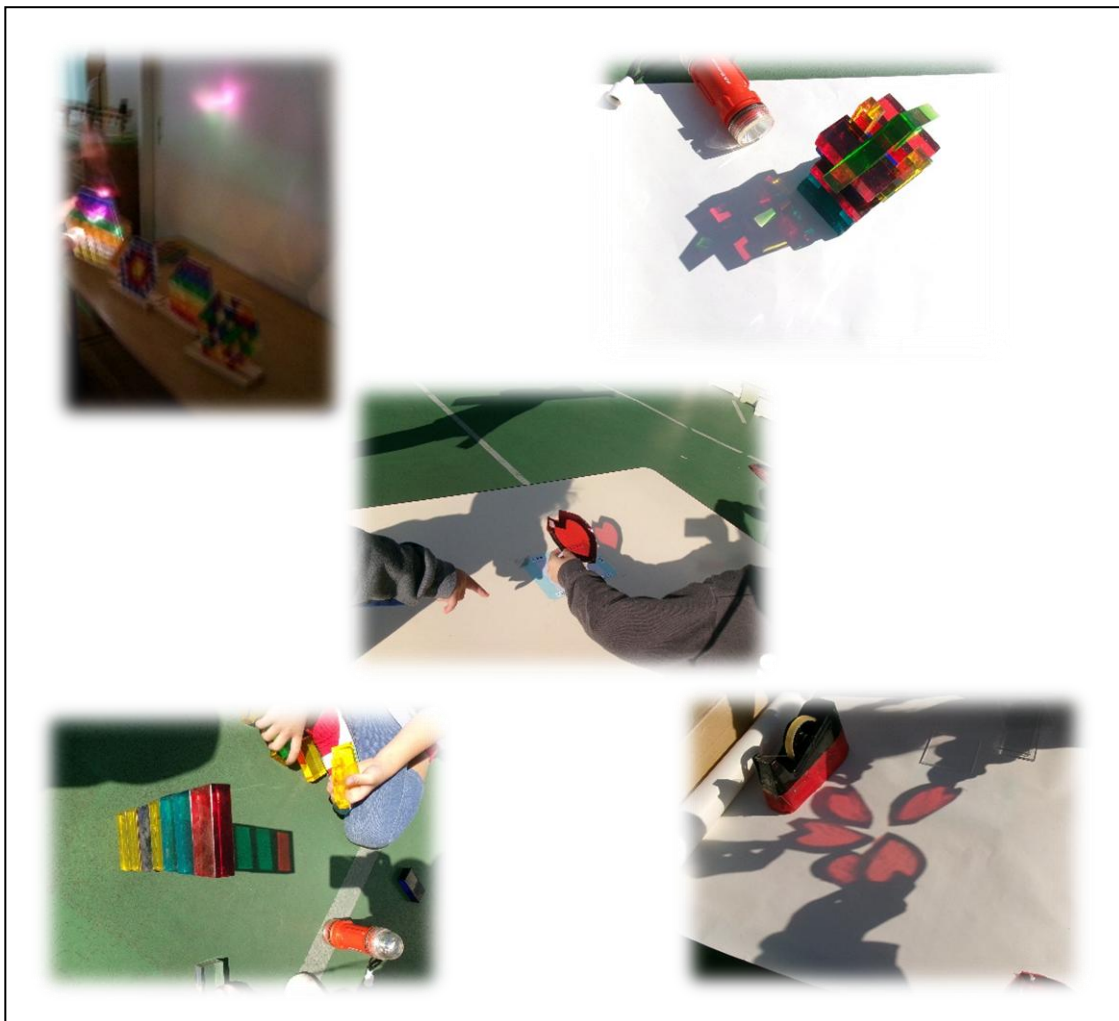
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ① 電気を消したときに、光が強く映し出され「きれいだね」「お月さまみたい」と言って、暗い時と明るい時とで懐中電灯の光の強さが違うことを体感していた。保育者が懐中電灯を遠ざけたり近づけたりすると、「おおきくなったり、ちっちゃくなったりする」と光の大きさが変わること気が付いていた。保育者がプリズモに光をあてていると、壁に色のついた影が映し出されていることに気が付き、自らプリズモや積み木に光をあてて映し出される光や影を楽しんでいた。
- ② 前回の室内での懐中電灯が印象的だったようで、初めは懐中電灯を手にするが戸外では光が弱く感じたのかすぐに手放して、他の玩具を手にする。レンガ積み木に光が当たると、色のついた影が床に映し出されることに気が付く。積み木が低いままではあまり影ができないので、保育者が「積み上げていくとみえるかな？」と声をかけると、積み上げていた。そして、色のついた影がよく見えるとその影を見ながら積み上げていた。また、人の影になるとレンガ積み木の影が見えなくなった。保育者の「どうしたら見えるようになる？」の問いかけに、影にならない立ち位置があることに気づき、友達にも「そこにいると見えない」と言っている姿も見られた。
「(影が) こっち側にしか見えない」と言う子もいた。保育者が「なんでだろう？」と問うと「太陽がこっちにあるから」と太陽の位置と影の関係に気がついている子もいた。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ③ジュエールドミノを積み上げていると、太陽光があたり床に反射していた。「あ、ひかっている」「テンテンだ」「なんでむらさきはうつらないんだろう？」など、反射した光を観察しながら、積み重ねていく。積み木側に光が当たると反射しないことに気が付き、ジュエルが太陽に向くよう作り直したり、反射が綺麗に映る角度を探して重ねていた。子どもが制作したステンドグラス風の桜の花びらは、緑の床の上でやっていたが、「違うところでやってみよう」と白い模造紙の上でやっていた。桜の花びらになるように角度や位置をかえていた。友達と合わせて桜の花にしたり、手の影が映らないように棒に付けるなどいろいろと試している姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・どこから光がきていて光が当たるとどうなるのか、などのイメージは少しあるように感じた。しかし、子どもからの気づきは難しかったので、保育者の声掛けやアプローチがあることによって、映し出された色の影や形に気づくことができた。アプローチによって光がよく反射する方に積み木の向きを変えたり、ステンドグラス風の花びらの向きを変えたりしながら工夫して遊ぶ姿が見られた。
- ・今回のテーマは、環境設定や保育者の働きかけなどに難しさを感じた。「光」のテーマが広範囲のため、子どもの気づきが「反射」「影」「光の屈折」「色の三原色」など多岐にわたっていて、探求活動のどこに焦点をあてたら良いのか保育者も手さぐりでの活動になった。しかし「光」というものに、興味をもつ良い機会になったのではないかと感じた。